



# ばいりん

令和5年11月号

横浜市立梅林小学校

TEL 045-773-0341

FAX 045-772-4862



赤白対抗 心を一つに 全力尽くして 頑張った梅林小運動会

校長 芦垣 幸代

10月14日、秋晴れのもと、令和5年度の梅林小運動会が行われました。朝会で、子どもたちが決めた今年度のスローガンについて『全力尽

くす』とは、『心を一つに』とはどんなことだろう」と問いかけ、「練習から」「めあてをもって」「最後まで」を意識してほしいこと、「赤白のチームで」「低中高のブロックで」「全体で」心を一つに競技に全力を尽くしたり、思いを表現したりしてほしいことを話しました。

子どもたちは、運動会当日まで、それぞれの学年がめあてをもって練習に取り組みました。昼休みなどのちょっとした時間に中学年の教室から「ヘイ！ヘイ！」と掛け声が聞こえるので行ってみると、クラスで演技の練習を楽しそうに行っていました。ある日の5年生は、練習で撮った演技を動画で見っていたのですが、「6年生すごい！」「先生、6年生をよく見せてくださいよ」という声が。ブロック学年で、上学年の演技に圧倒されつつ自分たちも頑張ろうとしている5年生も素晴らしいと感じました。6年生は、子どもたち自らが何度も集まって騎馬戦の作戦を立てていました。今年度プログラムに入れることができた全校競技の大玉送り。1回目の練習では、経験のあまりない6年生がどう動いてよいかわからず「チームで勝ちたい」という気持ちが伝わってこない場面があったのですが、その後、赤白で作戦をたて、練習中に下級生に声をかけたり、大玉を上手に送ったりしてどちらのチームもタイムをどんどん縮めていきました。

運動会当日、どの学年の演技も、思いを体いっぱい表現していて、楽しさ、喜び、穏やかさ、力強さなどが伝わってきました。団体競技もチームで力を合わせ一生懸命競いました。高学年は、運動会特別委員会に所属してそれぞれの役割を責任をもって果たし、係の仕事にきびきびと取り組んでいました。応援は、休み時間に集まって練習を重ね、応援団自らが大きな声を出し、クラス、学校全体を盛り上げようとしていました。運動会当日は、応援団以外の子どもたちも心を一つに応援していました。毎日休み時間に練習をしていた低学年、高学年リレーも、息のぴったり合った素晴らしいバトンパスでした。夏休み前から練習を続けていた鼓笛隊の演奏も気持ちのよい秋の空に明るく響いていました。

今年度は、優勝白組、準優勝赤組でした。負けたチームは悔しかったかもしれませんが、心を一つに全力を尽くして梅林運動会を盛り上げたことに自信をもってほしいです。成果をしっかり振り返り、これからの学習に生かしていきます。

今年度は4年ぶりに保護者の皆様に参観者数の制限なくご覧いただけるようになり、大変うれしい反面、限られた敷地内であり、心配な面もありました。そんな中、保護者の皆様には子どもたちへの温かい励まし、当日の運営へのご協力をいただき、共に梅林小学校の運動会をつくっていただいたこと、本当にありがとうございました。また、当日の安心、安全な運動会の開催にむけて、PTA、おやじの会、地域の皆様にご協力いただきましたことも心より感謝申し上げます。

梅林小の正門に大きな桜の木が植わっています。毎年すばらしい花を咲かせてくれます。しかし、昨年度に引き続き、さらに1本を伐採しなければならなくなりました。教育委員会の樹木剪定調査により、根元が腐ってきている兆候が見られ、安全のために伐採が必要ということになったのです。とても残念ですが、「今までありがとう」という気持ちをこめて見送りたいと思います。